



1人はみ出し 当落線上の大激戦 「くらしと平和を守る」願い 関とおる候補へ

山形県議選9日投開票 かけがえのない鶴岡の宝の議席 あと5票、10票の支持を！



支持を訴える関とおる県議候補(右端)と応援に駆けつけた高橋千鶴子衆院議員(左端)

訴えました。
二つ目に命と健康を守るため、「看護師・介護職員・保育士等の人員体制拡充と賃上げで応援します」と訴えています。
三つ目に平和な社会を守ることを挙げ、「政府は軍事費を投入しようとしているが、43兆円あれば医療費無料、大学学費半減、最賃1500円にできる」地方議員であっても政治家ならば戦争させないことは責務」と訴えています。
「農業をダメにしたのは自民党」の声
日本共産党市議団は前面に立って、関とおる候補の支援に奮闘しています。
市民から党市議団に、多くの声が寄せられています。
「自民党の3人は多すぎる。」
「農業をダメにしてきたのは自民党だ。共産党に頑張ってもらいたい。」
「医療現場はコロナ禍で大変だ。現場のわかる関さんが頼りだ。」
「5ヶ月間の給食無償化は本当に助かった。これからも無償化が続けられるようにしてほしい。」
「国保税は高すぎる。農家は20町歩もやっていると、100万円を超える。なんとかして欲しい。」
「岸田政権の大軍拡は心配だ。戦争が二度とあってはならない。」など、切実な訴えがあります。
自民党市政に逆戻りさせないためにも必要な議席

9日投開票の山形県議会議員選挙鶴岡市区は、1人はみ出しの大激戦。日本共産党の関とおる候補は、当落線上の大激戦にありまします。最後の猛奮闘で、必ず勝利をつかみ取りましょう。

関とおる氏は県議として、皆川治鶴岡市長を力強く支えてきました。
市議会でも、市民要求の請願にことごとく反対してきたのが自民党会派の議員です。
自民党市政への逆戻りをさせないためにも、皆川市長を支える関とおる氏の議席は、県議会にどうしても必要です。
日本共産党は「反戦・平和」を貫いて10

吉村県政を前に進めるかけがえのない議席

併せて「学校給食の無償化」「返済不要の奨学金制度の拡大」「国保税の引き下げ」「農家への経営規模を問わない支援策」の実現を

3日、関候補の応援に駆けつけた高橋千鶴子衆院議員は「秋田・宮城の応援に入ったが、どの県議候補も『山形県の進んだ政策を我が県でも』と訴えてい

「医療現場はコロナ禍で大変だ。現場のわかる関さんが頼りだ。」
「5ヶ月間の給食無償化は本当に助かった。これからも無償化が続けられるようにしてほしい。」
「国保税は高すぎる。農家は20町歩もやっていると、100万円を超える。なんとかして欲しい。」
「岸田政権の大軍拡は心配だ。戦争が二度とあってはならない。」など、切実な訴えがあります。
自民党市政に逆戻りさせないためにも、皆川市長を支える関とおる氏の議席は、県議会にどうしても必要です。
日本共産党は「反戦・平和」を貫いて10

鶴岡市の0歳児過去最少622人

自民党の国づくり失敗 新自由主義政策で結婚できない若者が急増

鶴岡市の地域別子どもの数 (2023年3月31日)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
鶴岡	男	243	272	257	295	291	286	285	348	303	342	330	375	354	393	393
	女	232	262	262	274	295	284	318	331	345	346	331	358	367	336	347
	計	475	534	519	569	586	570	603	679	648	688	661	733	721	729	740
藤島	男	28	25	17	24	28	27	32	28	28	34	35	32	41	41	41
	女	17	26	16	33	23	29	24	38	36	30	37	36	35	42	38
	計	45	51	33	57	51	56	56	66	64	64	72	68	76	83	79
羽黒	男	18	20	13	30	23	23	24	33	31	29	28	34	33	34	31
	女	23	12	16	22	19	22	27	25	19	22	29	35	35	30	31
	計	41	32	29	52	42	45	51	58	50	51	57	69	68	64	62
榑引	男	11	13	24	18	26	37	33	27	17	31	28	33	21	30	26
	女	26	18	14	20	17	23	26	33	21	32	26	21	35	26	36
	計	37	31	38	38	43	60	59	60	38	63	54	54	56	56	62
朝日	男	6	7	11	6	4	5	11	11	9	12	13	14	9	17	15
	女	3	5	3	4	7	7	9	10	10	6	5	12	14	14	9
	計	9	12	14	10	11	12	20	21	19	18	18	26	23	31	24
温海	男	8	14	10	11	12	8	14	16	15	19	15	15	19	17	19
	女	7	11	13	3	11	13	13	10	12	15	20	24	17	19	25
	計	15	25	23	14	23	21	27	26	27	34	35	39	36	36	44
合計	男	314	351	332	384	384	386	399	463	403	467	449	503	477	532	525
	女	308	334	324	356	372	378	417	447	443	451	448	486	503	467	486
	計	622	685	656	740	756	764	816	910	846	918	897	989	980	999	1011

三川町の子どもの数 (2023年3月31日)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
三川町	男	16	29	35	37	27	43	37	40	37	34	37	30	42	39	38
	女	19	20	29	17	26	39	36	32	32	33	30	32	30	33	21
	計	35	49	64	54	53	82	73	72	69	67	67	62	72	72	59

鶴岡市全体の昨年度出生した0歳児は622人で、過去最少となりました。

少子化の要因はハッキリしており、これまでの自民党の国づくりの失敗です。

「小泉・竹中」政権以来の新自由主義政策で、若者の非正規雇用が増え、格差が拡大し、結婚できない若者が急増しました。

日本の実質賃金は、1996年から2022年の間に、労働者1人あたり年間約64万円も減りました（「毎月勤労統計調査」）。

世界でも異常な大学の学費など、子育て・教育費の負担は、子どもを産めない社会にしました。

自公政権の新自由主義との決別が急務です。

